

北中学校区小中一貫教育グランドデザイン

共通の目標・目指す子ども像

教育目標

学びを未来につなげ、仲間とつながり、自らの未来に向かってたくましくあゆむ児童生徒の育成

目指す子ども像

自ら学び・自ら考える児童生徒 豊かな心を持ち、仲間とともに歩む児童生徒

北日吉小学校の経営方針・重点

- ・経営方針「進んで学び、共に未来を拓く子の育成」
- ・重点教育目標「豊かな心を持ち、共に学ぶ北日吉の子」
- ・経営の基本姿勢「組織的な学校運営による質の高い教育活動の推進」

東山小学校の経営方針・重点

- ・経営方針：「一人一人が自分らしく伸びて、願いが叶う学校
～なりたい自分になる～」
- ・重点教育目標：「温かな心で 仲間と共に 進んで学ぶ子」
- ・経営の基本姿勢（願いが叶う学校へのアプローチ）：
 - ① 安全・安心な学校づくり
 - ② よりよい人間関係の醸成
 - ③ 確かな資質・能力の育成
 - ④ 豊かな教室環境づくり

組織的な学校運営・指導体制

確かな学力・
生きる力の育成

豊かな心を持ち・
変化する社会の中で生きる

北中学校の経営方針・重点

- ・経営方針 「質の高い学びの提供」「安心・安全の場の提供」「地域とともに歩む学校」「生徒を支え力量を高める教職員」
- ・重点教育目標 「自分の可能性を信じ、学びを自らの力にする生徒の育成」
- ・経営の基本姿勢 「家庭・地域・小学校との連携をキーワードとした信頼を高める学校経営」

協働する学校の構築

小中一貫教育の目的

- ・義務教育 9 年間を見通して、すべての子どもに個別最適の学びを保障し、社会の一員として自立できる力を育み、自らの将来を切り拓いていく力を身に付けさせる。
- ・児童生徒を守り・育てる取組を継続するとともに、コロナ以前の日常を取り戻すための不断的な努力を小中が連携して行い、本来の学校が持つ教育力を回復させる。
- ・中 1 ギャップを解消し、小学校生活から中学校生活に円滑に接続・移行させる。
- ・小学校と中学校の心身の発達段階に応じた児童・生徒理解を深め、授業力の向上や指導方法の工夫・改善を図る。
- ・生徒指導上の諸問題を共通理解し、一貫性・系統性のある指導を展開する。
- ・学校間の繋がりに加え、家庭・地域への繋がりを CS で広げ、豊かな教育環境を構築する。

小中一貫を進める3つの窓口

一貫した教育目標や経営計画の策定

小中一貫に基づく学校経営計画の策定

- ※北中学校区の合同の教育目標・育てたい子ども像の策定と共有
- ※小学校高学年から中学校1年までの期間を接続の重点期として位置付け、取組を重点化
- ※生活指導、ICT を使った学習支援等の、小中一体となった取組の推進

教育課程の9年間の連続性・系統性

- ※育てたい子ども像の実現に向けた各校の教育課程の相互理解の促進と、9年間を見通した教育課程の編成・実施、9年間を見通した情報教育の計画策定に向けた取組
- ※学習の基盤となる資質・能力の共通理解と、地域や子どもの特性に配慮した教育課程の検討

CS を基盤とした地域・保護者との連携・協力

- ※北中学校区の学校関係者、保護者、地域住民との、小中一貫教育の教育目標・子ども像の共有化
- ※小中合同のCS 会議の開催による、学校間・地域間を繋ぐ取組の一層の推進
- ※CS の取組を通じた、学校と保護者・地域住民等の間の信頼関係の醸成、学校運営の改善、児童生徒の健全育成の一層の推進

小中のギャップを軽減する・なくするための取組

学習規律の共有と確立・家庭学習習慣の定着

- ※各校の学習規律の交流、北中の目指す学習常規の確立にむけた計画的な取組
- ※中学校の定期テストと連動させた家庭学習週間の実施
- ※家庭学習習慣の定着のための小中が連携した取組の実施
- ※司書教諭による、小中連携した読書習慣形成のための取組

望ましい生活習慣の定着

- ※各校の生活指導の交流と、目指す基本的生活習慣の共有化
- ※各校の給食指導や清掃指導についての交流

学校行事などを活用した児童・生徒の交流(可能な場合)

- ※体験入学や、学習・生活ガイダンスなどの共同企画・実施
- ※学校行事(運動会・体育祭、学芸会・文化祭)の相互交流

特別支援教育を要する児童生徒の交流

- ※小学校での指導の経過を中学校と共有するため、合同の会議を設け、特性や障害の程度理解と教育支援計画について交流
- ※特別支援学級間の合同授業や、特別支援学級教員による相互参観、児童・保護者による中学校の参観の実施

学校不適応・不登校への対応

- ※各校の不登校児童・生徒の状況の定期的な交流
- ※ソーシャルスキルや人間関係調整力の育成を図るための取組計画の策定
- ※ICT 機器を活用した不登校児童生徒への新たな対応

小中の学校観や児童・生徒観の違いを理解し、指導に生かす取組

授業参観、共同研究などをととした研修の充実

- ※小・中学校教員の持つ児童・生徒像の違いを互いに学び合い、9年間で児童・生徒を育てる発想へ転換を図るとともに、自らの学校種の果たす役割について再認識
- ※合同研修会などにおける学力観・授業観の意見交流を通じた、指導の系統性の確認、道徳、特活、総合的な学習の時間、教育相談、生徒指導などの領域でのそれぞれの学校種の取組の理解

教科担任制・乗り入れ指導などによる円滑な接続への工夫

- ※教科の好き嫌いが顕著になる小5を境に、発達上の段差に対応した、接続重点期の指導体制の検討)
- ※学級担任制から教科担任制への移行を図る、取組の工夫(進学にともなう不安の軽減)

確かな学びを保証する授業改善への取組

- ※全国学力調査や CRT などの各種調査に基づいた、小中間の学習における課題の共通認識の形成
- ※各学校段階で取り組める段階性・継続性を踏まえた授業改善への取組
- ※ICT を活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体化に向けた取組